

古井先生と CSJ

河原達也¹

概要 : 古井先生の業績は、音声認識・話者認識における先駆的な研究に加えて、ISCA の黎明期の会長及び APSIPA の創設・初代会長を務められたこと等が挙げられる。しかし、ご本人が昨年末の IEEE によるインタビューで最も強調されていたのは、『日本語話し言葉コーパス』(CSJ)であった。著者は 1999 年度から 5 年間行われた当該プロジェクトに関わることができた。CSJ は、現時点でも公開されている日本語の音声データベースとしては最大規模で最も広く使われている。当初 30%を超えていた WER が一桁にまで改善されたこの 20 年余を振り返る。

Prof. Furui and CSJ

Tatsuya Kawahara^{†1}

¹ 京都大学
Kyoto University